

科目名	コミュニケーション論	授業形態	
英語科目名	Human Communication	対象学年	1年
開講学期	2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	浅野 恵子	ナンバリング	
担当教員	浅野 恵子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>「コミュニケーション」という言葉が日本語として定着して久しい。日常で普段何気なく使っているものの、様々なシーンで多義的に用いられているのが現状といえよう。この講義では、「コミュニケーション」を様々なテーマごとに検討していく。単に講義を受講することにとどまらず、実際に具体的な事例を体験しながら理解を進めていってもらおう。この講義を受講することによって、学生の皆さんは、コミュニケーション関連の各学問分野の基礎的概念を習得し、それらの分野が取り扱う具体的な事例を活用しながら、医療とコミュニケーションに関連付けた個別の課題を模索し、応用できるようになることを目標とする。</p> <p>「人間を見つめる」という将来の職業との関連のコミュニケーションも常に念頭に置いて受講してもらいたい。</p>		
到達目標	<p>[一般目標] 具体的に実際使用する際にコミュニケーション方法ではなく、その参考となる概念を認識・習得できるようにしていく。</p> <p>[到達目標] 1. コミュニケーションの定義を理解し、体系的に説明できる。 2. コミュニケーションの各分野の方法論を理解し、タームを説明できる。 3. コミュニケーションに対する具体的な実験を理解し、説明できる。 4. 授業中に学習した内容を踏まえて、自分なりの仮説を立て、報告書を書ける。 5. コミュニケーションに対する考えをまとめ、他人に説明できる。</p>		
授業の位置づけ	語学系選択科目		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力 DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようとする心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力 DP③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力 DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</p>		

履修上の注意、履修要件	<p>この講義では、テーマごとに問題提起と講義を行った後、オンライン上でもグループディスカッションを行い、各自の疑問、意見を述べてもらう。</p> <p>さらに講義後、自分のコメントを書き、Google classroom 上に提出する。オンライン授業なので、適宜提出方法、グループディスカッションの方法は指示を出すので、それに従うこと。</p> <p>受講希望者が80名以上の場合は抽選となる。</p>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法： 以下の点を考慮して評価を行う。出席回数、毎回の課題とコメント、授業中の積極的参加状況、最終課題レポート</p>
------	--

評価基準	<p>成績評価基準： 個別試験や総合試験の結果、実習等を基に総合的な理解度を見て判定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーションに関連した問題について、その背景を具体的に述べることができる（ノート提出）</li> <li>2. コミュニケーション分野の基本的な意味を理解している（中間レポート試験相当）</li> <li>3. コミュニケーションに関連した分野での調査を行い、独自の視点も盛り込んだレポート作成する（定期試験相当）</li> <li>4. 授業中の発言やグループワークの取組状況によって受講態度を評価する（平常点） <span style="float: right;">80名を超えたときは人数制限を行う場合がある。</span></li> </ol>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

講義中に随時指示、配布する。

その他	
連絡先・オフィスアワー	通年で 木曜日昼休み 月曜日昼休み keasano@jutendo.ac.jp 質問がある場合はメールで連絡してください。
担当教員の実務経験	
備考	今回のテーマに関連した参考文献、資料を配布するので、それに沿った内容を個別に読んでおくこと。または自分で興味がある内容の書物・記事を探して知識を補っておくこと。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
9/26 月 3限	浅野 恵子	<p>【授業タイトル】はじめに コミュニケーションとは（1） 【サブ・タイトル】講義の概念説明 【キーワード】自分にとってのコミュニケーションとは 【到達目標】コミュニケーションの概念と今後の授業方法を理解する。</p> <p>【授業タイトル】はじめに コミュニケーションとは（2） 【サブ・タイトル】講義の概念説明 【キーワード】自己提示、グループ討論 意思はどう伝わるか 【到達目標】コミュニケーションの概念と今後の授業方法を理解する。</p>	講義 講義とアクティブラーニング	予習、復習方法の説明
10/3 月 3限	浅野 恵子	<p>【授業タイトル】言語とコミュニケーション（1） 【サブ・タイトル】同じ単語、違う意味 【キーワード】言語間の相違概念、わかりやすい医療用語 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p> <p>【授業タイトル】言語とコミュニケーション（2） 【サブ・タイトル】ギャップの原因、言語間の問題？ 【キーワード】言語間の相違概念、わかりやすい医療用語 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p>	講義とディスカッション	配布資料を予め読み、知識を得ておく。講義の内容で興味のあることをさらに調べノートに書いておく。

<p>10/17 月 3限</p>	<p>浅野 恵子</p>	<p>【授業タイトル】異文化間のコミュニケーション（1） 【サブ・タイトル】なぜ起こる？コンフリクトの原因 【キーワード】あいさつ サブカルチャー 先入観 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p> <p>【授業タイトル】異文化間のコミュニケーション（2） 【サブ・タイトル】なぜ起こる？コンフリクトの解決法 【キーワード】年齢、性差、社会関係、地域制、個人差 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p>	<p>講義とディスカッション</p>	<p>配布資料を予め読み、知識を得ておく。講義の内容で興味のあることをさらに調べノートに書いておく。</p>
<p>10/22 土 3限</p>	<p>浅野 恵子</p>	<p>【授業タイトル】話し言葉、音声コミュニケーション（1） 【サブ・タイトル】自分の声、相手の声を聞いてみよう。 【キーワード】Praat（音響ソフト）、声の録音 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p> <p>【授業タイトル】話し言葉、音声コミュニケーション（2） 【サブ・タイトル】声の役割、種類 【キーワード】Praat（音響ソフト）、声の録音 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p>	<p>講義とディスカッション</p>	<p>配布資料を予め読み、知識を得ておく。講義の内容で興味のあることをさらに調べノートに書いておく。</p>
<p>10/24 月 3限</p>	<p>浅野 恵子</p>	<p>【授業タイトル】話し言葉、音声コミュニケーション（3） 【サブ・タイトル】音声はどこから 【キーワード】周辺言語、声帯振動画像、 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p> <p>【授業タイトル】話し言葉、音声コミュニケーション（4） 【サブ・タイトル】沈黙と声 【キーワード】言葉のない言葉、ことばにならない言葉、内的発話 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p>	<p>講義とディスカッション</p>	<p>配布資料を予め読み、知識を得ておく。講義の内容で興味のあることをさらに調べノートに書いておく。</p>
<p>10/31 月 3限</p>	<p>浅野 恵子</p>	<p>【授業タイトル】非言語コミュニケーション（1） 【サブ・タイトル】無意識に意識している、されている 【キーワード】ジェスチャー、ボディコミュニケーション、身体動作学 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p> <p>【授業タイトル】非言語コミュニケーション（2） 【サブ・タイトル】どのように非言語コミュニケーションが反映されているか 【キーワード】ジェスチャークイズ 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p>	<p>講義とディスカッション</p>	<p>配布資料を予め読み、知識を得ておく。講義の内容で興味のあることをさらに調べノートに書いておく。</p>

<p>11/7 月 3限</p>	<p>浅野 恵子</p>	<p>【授業タイトル】時間と空間（１） 【サブ・タイトル】個人空間を探そう、内在自己時間 【キーワード】人間のなわばり、速度 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p> <p>【授業タイトル】時間と空間（２） 【サブ・タイトル】心理的事象、物理的事象 【キーワード】パーソナルテンポ、パーソナルスペースの測定 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p>	<p>講義とディスカッション</p>	<p>配布資料を予め読み、知識を得ておく。講義の内容で興味のあることをさらに調べノートに書いておく。</p>
<p>11/21 月 3限</p>	<p>浅野 恵子</p>	<p>【授業タイトル】マスメディアとコミュニケーション（１） 【サブ・タイトル】効果的なコミュニケーションツール 【キーワード】広告、テクノロジー、伝達媒体 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p> <p>【授業タイトル】マスメディアとコミュニケーション（２） 【サブ・タイトル】コミュニケーションツールの弊害 【キーワード】広告、テクノロジー、伝達媒体 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p>	<p>講義とディスカッション</p>	<p>配布資料を予め読み、知識を得ておく。講義の内容で興味のあることをさらに調べノートに書いておく。</p>
<p>11/26 土 3限</p>	<p>浅野 恵子</p>	<p>【授業タイトル】感覚とコミュニケーション（１） 【サブ・タイトル】共通感覚の相違 【キーワード】共感覚、感覚器官と認識、文化と感覚 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p> <p>【授業タイトル】感覚とコミュニケーション（２） 【サブ・タイトル】錯覚と現実 【キーワード】個別言語と内在速度 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p>	<p>講義とディスカッション</p>	<p>配布資料を予め読み、知識を得ておく。講義の内容で興味のあることをさらに調べノートに書いておく。</p>
<p>11/28 月 3限</p>	<p>浅野 恵子</p>	<p>【授業タイトル】日常のコミュニケーション（１） 【サブ・タイトル】何気ない会話とは 【キーワード】雑談の複雑さ 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p> <p>【授業タイトル】日常のコミュニケーション（２） 【サブ・タイトル】コミュニケーションが苦手であるとは 【キーワード】雑談分析 【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p>	<p>講義とディスカッション</p>	<p>配布資料を予め読み、知識を得ておく。講義の内容で興味のあることをさらに調べノートに書いておく。</p>

<p>12/5 月 3限</p>	<p>浅野 恵子</p>	<p>【授業タイトル】 集団行動におけるコミュニケーション（1） 【サブ・タイトル】 集団と個人の違い 【キーワード】 社会行動 【到達目標】 本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p> <p>【授業タイトル】 集団行動におけるコミュニケーション（2） 【サブ・タイトル】 集団と個人の違い 【キーワード】 社会行動 【到達目標】 本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p>	<p>講義とディスカッション</p>	<p>配布資料を予め読み、知識を得ておく。講義の内容で興味のあることをさらに調べノートに書いておく。</p>
<p>12/12 月 3限</p>	<p>浅野 恵子</p>	<p>【授業タイトル】 集団心理から見たコミュニケーション（1） 【サブ・タイトル】 日本文化と集団 【キーワード】 集団心理 【到達目標】 本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p> <p>【授業タイトル】 集団心理から見たコミュニケーション（2） 【サブ・タイトル】 日本文化と集団 【キーワード】 集団心理についての問題を解く、解説 【到達目標】 本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p>	<p>講義とディスカッション</p>	<p>配布資料を予め読み、知識を得ておく。講義の内容で興味のあることをさらに調べノートに書いておく。</p>
<p>12/19 月 3限</p>	<p>浅野 恵子</p>	<p>【授業タイトル】 嘘のコミュニケーション（1） 【サブ・タイトル】 嘘と身体表現(表情)、ヒトはなぜ嘘をつくのか 【キーワード】 表情と筋肉の関係 【到達目標】 本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p> <p>【授業タイトル】 嘘のコミュニケーション（2） 【サブ・タイトル】 嘘と身体表現(表情)、嘘を暴く 【キーワード】 表情筋から感情と読みとる 【到達目標】 本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p>	<p>講義とディスカッション</p>	<p>配布資料を予め読み、知識を得ておく。講義の内容で興味のあることをさらに調べノートに書いておく。</p>

<p>1/13 金 3限</p>	<p>浅野 恵子</p>	<p>【授業タイトル】コミュニケーションとは、再びまとめ（1）  【サブ・タイトル】コミュニケーションするとはどういうことか  【キーワード】「言葉で治療する」  【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p> <p>【授業タイトル】コミュニケーションとは、再びまとめ（2）  【サブ・タイトル】全体の総括  【キーワード】「言葉で治療する」エッセイを読んで感想  【到達目標】本講の要となる内容を理解し、それに対して自分のコメントを加えながら説明できること。</p>	<p>講義とディスカッション</p>	<p>配布資料を予め読み、知識を得ておく。講義の内容に興味のあることをさらに調べノートに書いておく。</p>










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	医療の経営学	授業形態	講義
英語科目名	The Economics of Medicine	対象学年	1年
開講学期	2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	猪俣 武範	ナンバリング	
担当教員	猪俣 武範、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>少子高齢化、医療の高度・高額化に伴い医療費は増加の一途をたどっており、年間40兆円を超える日本の国民医療費は、深刻な財政リスクとなってきた。一方で、医師の働き方改革があるように、限られた医療資源の効率的な活用が求められている。さらに、医師は他職種から形成されるチーム医療のリーダーとして診療をマネジメントする必要がある。そこで、本講座では、リーダーシップやマネジメント能力、ネットワーキングスキル、キャリア形成、教養や貢献などを講義、演習から学習する。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医師として必要なマネジメント、リーダーシップ能力を醸成する。</li> <li>2. ネットワーキング、交渉力を理解し、自己と他者の主張を理解する。</li> <li>3. プレゼンテーションの経験を積む。</li> <li>4. 医学生として医療に関わる様々な教養を身につける</li> </ol> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. マネジメント、リーダーシップの基本的な考え方を身につけることができる</li> <li>2. 自分の主張を論理的に議論できる</li> <li>3. プレゼンテーションができる</li> <li>4. 医療に関わる様々な教養を身につけることができる</li> </ol>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		



履修上の注意、履修要件	<p>本講義では、リーダーシップや貢献など目に見えないソフトスキルの充実を目指すため、演習実習が多く存在する。そのため、授業出席と授業における発言や貢献などを重視する。また思考法やリーダーシップなど無形資産を広く扱うため、必ずしも授業において明確な正解がない場合もある。</p> <p>授業ではプレゼンテーションなどおこなうため、PCの持参必須。</p>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法： 授業点(70%)、定期試験(30%)を総合して評価する。</p>
------	---

評価基準	<p>成績評価基準： 1. 授業の出席状況の評価する 2. 授業中の発言やグループワークにおける貢献を評価する 3. 定期試験における本講義の理解度を評価する</p>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

レポートや演習に関しては、講義中に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

- ・ハーバード×MBA×医師 目標を次々に達成する人の最強の勉強法 (猪俣 武範)
- ・MBAオペレーション戦略 (遠藤 功)
- ・医療戦略の本質 (山本雄士)
- ・医療マーケティング (真野 俊樹)
- ・最新判例にみるインターネット上の名誉毀損の理論と実務 (松尾剛行)
- ・医療戦略の本質 (山本雄士)
- ・会計の基本(岩谷誠治)

その他	
連絡先・オフィスアワー	
担当教員の実務経験	
備考	<p>事前に授業範囲の予習が望ましい。ケーススタディー*などは事前に配布し、設問を検討する必要がある。コースを通じた課題作成があり。</p> <p>必要時間 (予習90分、復習90分) 初回のガイダンスで詳細は説明する</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
9/21 水 2限	猪俣武範	<p>【授業タイトル】ガイダンス</p> <p>【キーワード】MBA</p> <p>【到達目標】本講義の進め方と講義を通じて獲得すべき知識について理解する。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】講義の進め方を具体的に示す。</p>	<p>目標を次々に達成する人の最強の勉強法（猪俣武範）</p>
9/21 水 2限	猪俣武範	<p>【授業タイトル】経営学とリーダーシップ</p> <p>【サブ・タイトル】医師において経営学とリーダーシップはなぜ必要か？</p> <p>【キーワード】マネジメント、リーダーシップ</p> <p>【到達目標】マネジメント、リーダーシップ</p>	<p>実習・討論</p>	<p>なし</p>

<p>10/5 水 2限</p>	<p>合同会社gtra and company代 表執行役 公認会計士 朝倉 徹太郎</p>	<p>【授業タイトル】 会計学入門 【サブ・タイトル】 医療における会計学 【キーワード】 会計、ファイナンス 【到達目標】 会計学の基礎を理解する。</p>	<p>講義・討論</p>	<p>予習: 会計の基本(岩谷誠治)1章会計とは</p>
<p>10/12 水 2限</p>	<p>猪俣 武範</p>	<p>【授業タイトル】 ゲーム理論 【サブ・タイトル】 競争と共走とは 【キーワード】 ゲーム理論、社会貢献 【到達目標】 ゲーム理論を通じて共走と貢献について理解する</p>	<p>講義・討論</p>	<p>なし</p>
<p>10/12 水 2限</p>	<p>猪俣 武範</p>	<p>【授業タイトル】 ゲーム理論演習 【サブ・タイトル】 ゲーム理論の演習をおこなう 【キーワード】 ゲーム理論、社会貢献</p>	<p>講義・討論</p>	<p>なし</p>
<p>10/19 水 2限</p>	<p>グロービス経 営大学院 シニア・ファ カルティ・ ディレクター 金子 浩明</p>	<p>【授業タイトル】 経営戦略 【サブ・タイトル】 ミッション、ビジョン、ストラテジーとは 【キーワード】 経営戦略、ミッション、ビジョン、ストラテジー 【到達目標】 ミッション、ビジョン、ストラテジーの違いについて理解する。</p>	<p>講義・討論</p>	<p>ミッション、ビジョン、ストラテジーの違いについて理解する。</p>

10/19 水 2限	グロービス経営大学院 シニア・ファカルティ・ディレクター 金子浩明	【授業タイトル】オペレーション概論 【サブ・タイトル】オペレーションズマネジメントとは 【キーワード】オペレーションズマネジメント、経営効率 【到達目標】オペレーションの基礎を理解する	実習・討論	MBAオペレーション戦略 (遠藤 功)
10/26 水 2限	猪俣武範	【授業タイトル】グローバルヘルスケア 【サブ・タイトル】ヘルスケアビジネスの最先端 【キーワード】ヘルスケア、ビジネス、イノベーション 【到達目標】ヘルスケアの最先端について理解する	実習・討論 【注意点】パソコン持参	
11/2 水 2限	東京大学大学院工学系研究科個別化保健医療講座 特任助教 中村正裕	【授業タイトル】AIと医療 【サブ・タイトル】ヘルスケアとイノベーション 【キーワード】人工知能、AI、ビックデータ、アプリ、IoT、個別医療、先制医療 【到達目標】AI、ビックデータ、IoTなどの用語を理解する	実習・討論 【注意点】パソコン持参	
11/9 水 2限	革新的医療技術開発研究センター 准教授 後藤景子	【授業タイトル】医療経済学と医療政策 【サブ・タイトル】市場の選択と医療政策とは何か 【キーワード】医療経済学、医療政策、市場原理 【到達目標】医療経済と医療政策を理解する	講義・討論	なし

<p>11/30 水 2限</p>	<p>筑波大学 医学医療系ト ランスポー ター医学研究 センター (TMRC) 臨床医学域が ん免疫治療学 三嶋雄太</p>	<p>【授業タイトル】 iPS細胞とレギュラトリーサイエンス 【サブ・タイトル】 研究のエコシステム 【キーワード】 iPS細胞、レギュラトリー、エコシステム、研究 【到達目標】 最新の研究とレギュラトリーサイエンスについて理解する</p>	<p>講義・討論</p>	<p>なし</p>
<p>12/3 土 2限</p>	<p>猪俣武範</p>	<p>【授業タイトル】 医師の働き方改革 【サブ・タイトル】 医師の働き方改革 【キーワード】 医師の働き方改革、時間外労働 【到達目標】 医師の働き方改革について理解する</p>	<p>講義・討論</p>	<p>医師の働き方改革についてレポートを作成する</p>
<p>12/7 水 2限</p>	<p>READYFOR (株) 室長 一般社団法人 メディカル ジャーナリズム 勉強会代表 広島大学医学 部客員准教授 市川衛</p>	<p>【授業タイトル】 医療とメディアヘルスコミュニケーション 【サブ・タイトル】 医療ジャーナリズム、ヘルスコミュニケーションの最前線 【キーワード】 ヘルスケア、メディア、コミュニケーションデザイン 【到達目標】 ヘルスケアにおける情報発信の現状と、改善のための方法について理解する</p>	<p>講義・討論</p>	

<p>12/14 水 2限</p>	<p>奥村雄一</p>	<p>【授業タイトル】大学発ベンチャーについて  【サブ・タイトル】大学発ベンチャーによる医療機器開発  【キーワード】経営、ベンチャー、スタートアップ  【到達目標】医師の働き方改革について理解する</p>	<p>講義・討論</p>	
<p>12/21 水 2限</p>	<p>桃尾・松尾・ 難波法律事務所 弁護士 松尾剛行</p>	<p>【授業タイトル】ビジネス法  【サブ・タイトル】次世代のリーダーに必要な法律知識  【キーワード】ビジネス法、リーダーシップ、法律、ガバナンス  【到達目標】ビジネスに関わる法律を理解する</p>	<p>講義・討論</p>	
<p>1/11 水 2限</p>	<p>猪俣武範</p>	<p>【授業タイトル】クロージング  【到達目標】まとめ</p>	<p>講義・討論</p>	










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	医療行為と法	授業形態	
英語科目名	Legal Problems on Medical Treatment	対象学年	1年
開講学期	2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	坪内 暁子	ナンバリング	
担当教員	坪内 暁子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>「法は倫理の最低限度」。これは法学入門で習う、法と倫理の関係に関する基本原則である。要するに、社会におけるルールをすべて法で定めることはない。これだけは国家権力による強制力によって是非とも守らせなければならない「最低限度の規範」だけが、法として定められるという意味である。</p> <p>近年の医療の発展は目覚ましいものがあるが、その観点から、人間の誕生をめぐる問題では、出生前診断、人工授精、体外受精、代理出産など、終末期の医療では、脳死判定、臓器移植、安楽死、尊厳死など、最近の医療技術の進歩によって広がった医療行為について考えていく。これは医療に従事する者（医師、看護師などのコ・メディカルなど）も医療を受ける患者側も十分に議論を重ねるべき問題である。</p> <p>最近の医療技術の進歩がもたらした問題、あるいは、社会規範（倫理・法）との関係を、法律的な側面から考えるのが本講義の目的である。</p>		
到達目標	<p>[一般目標] 医療行為における法的なものの考え方を習得する。</p> <p>[到達目標] 1. 現代社会における法の意味について理解できる。 2. 法が求める責任について、刑事・民事・行政の責任の違いについて理解できる。 3. 医療行為と法的責任の関係について理解できる。 4. 契約医療における informed consent の役割について理解できる。 5. 最近の医療技術の進歩によって広がった医療行為と従来の法や倫理で考えた場合起こり得る諸問題について理解できる。</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	本講座の目的は、最近社会で話題となることが増えた医療問題に関して、「患者の意思や他の医療従事者の意見を尊重しつつ、問題解決に向けて自ら考え、医療行為に臨む姿勢」を学生のときから身に付けてもらうことである。そのため、積極的な講義への参加を期待する。
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法： 講義参加の状況とレポートを中心に評価する。
------	----------------------------------

評価基準	成績評価基準： 講義参加の状況（グループ内での発言や発表等）30%、グループレポート40%、個人レポート30%の点数配分で評価する。
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（発表とレポート）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

教科書は指定しないが参考書を挙げる；  
「法と生命倫理20講」日本評論社、「実践医事法学」金原出版株式会社、「医の倫理の基礎知識 2018年版」日本医師会



その他	
連絡先・オフィスアワー	
担当教員の実務経験	
備考	医学、医療、医療者・医療機関等に関するニュース・社説等の記事を毎日読むことを習慣づける。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
9/26 月 1限	坪内 暁子	【授業タイトル】ヒポクラテスの誓いの現代的意義① 【サブ・タイトル】法の概念 【キーワード】リーガルマインド、行為規範、社会規範 【到達目標】法解釈の基礎である法、道徳倫理を背景とした行為規範、社会規範の形成過程について習得する。	講義 グループ討議 ※グループ編成	医師の基本的責務について考えてみる。
10/3 月 1限	坪内 暁子	【授業タイトル】ヒポクラテスの誓いの現代的意義② 【サブ・タイトル】生命倫理と医事法学 【キーワード】リーガルマインド、行為規範、社会規範 【到達目標】法解釈の基礎である法、道徳倫理を背景とした行為規範、社会規範の形成過程について習得する。	講義 グループ討議	医師の基本的責務について考えてみる。 グループレポート提出

<p>10/17 月 1限</p>	<p>坪内 暁子</p>	<p>【授業タイトル】医療の当事者としての患者と医師① 【サブ・タイトル】患者の権利と医師の義務 【キーワード】患者、医療者、医療施設 【到達目標】医療行為の関係者について理解する。</p>	<p>講義 グループ討議 ※グループ替え</p>	<p>医師の法的責任について考えてみる。</p>
<p>10/22 土 1限</p>	<p>坪内 暁子</p>	<p>【授業タイトル】医療の当事者としての患者と医師② 【サブ・タイトル】医師に問われる責任 【キーワード】刑事責任、民事責任、行政責任 【到達目標】法的責任の根拠と処罰内容を理解する。</p>	<p>講義 グループ討議</p>	<p>医師の法的責任について理解する。</p>
<p>10/24 月 1限</p>	<p>坪内 暁子</p>	<p>【授業タイトル】医療の当事者としての患者と医師③ 【サブ・タイトル】判例から学ぶ 【キーワード】損害賠償、業務上過失、免許取り消し 【到達目標】法的責任の根拠と処罰内容を理解する。</p>	<p>講義 グループワーク、 グループ討議</p>	<p>医師の法的責任について理解する。 グループレポート提出</p>
<p>10/31 月 1限</p>	<p>坪内 暁子</p>	<p>【授業タイトル】出生に関する法律問題A① 【サブ・タイトル】生殖医療、出生前診断、代理出産 【キーワード】生命倫理、医療倫理 【到達目標】生命誕生をめぐる法律問題を理解する。</p>	<p>講義 グループワーク、 グループ討議 ※グループ替え</p>	<p>技術の発展と生命誕生について考えてみる。</p>

11/7 月 1限	坪内 暁子	<p>【授業タイトル】出生に関する法律問題A②  【サブ・タイトル】生殖医療、出生前診断、代理出産  【キーワード】生命倫理、医療倫理  【到達目標】生命誕生をめぐる法律問題を理解する。</p>	<p>講義  グループ発表</p>	<p>技術の発展と生命誕生について考えてみる。  グループ発表</p>
11/21 月 1限	坪内 暁子	<p>【授業タイトル】終末期医療の法律問題B①  【サブ・タイトル】人間の尊厳と医療の限界  【キーワード】安楽死、尊厳死  【到達目標】患者の自己決定権と緩和ケアについて理解する。</p>	<p>講義  グループワーク、  グループ討議  ※グループ替え</p>	<p>生命終了への患者の自己決定と医師の関わり  について考えてみる。</p>
11/26 土 1限	坪内 暁子	<p>【授業タイトル】終末期医療の法律問題B②  【サブ・タイトル】人間の尊厳と医療の限界  【キーワード】安楽死、尊厳死  【到達目標】患者の自己決定権と緩和ケアについて理解する。</p>	<p>講義  グループ発表</p>	<p>生命終了への患者の自己決定と医師の関わり  について考えてみる。  グループ発表</p>
11/28 月 1限	坪内 暁子	<p>【授業タイトル】法律に基づく死の判定C①  【サブ・タイトル】脳死判定と臓器提供  【キーワード】脳死判定基準、臓器提供者の意思表示  【到達目標】脳死判定と臓器移植について理解する。</p>	<p>講義  グループワーク、  グループ討議  ※グループ替え</p>	<p>法判定による生命終了について考えてみる。</p>

<p>12/5 月 1限</p>	<p>坪内 暁子</p>	<p>【授業タイトル】法律に基づく死の判定②  【サブ・タイトル】脳死判定と臓器提供  【キーワード】脳死判定基準、臓器提供者の意思表示  【到達目標】脳死判定と臓器移植について理解する。</p>	<p>講義 グループ発表</p>	<p>法判定による生命終了について考えてみる。 グループ発表</p>
<p>12/12 月 1限</p>	<p>坪内 暁子</p>	<p>【授業タイトル】医師と社会①  【サブ・タイトル】異常死の届け出  【到達目標】患者の治療以外の社会での責務について理解する。</p>	<p>講義 グループワーク ※グループ替え</p>	<p>自分以外の意見も参考に、犯罪の解決や抑止につながる医師の役割について考えてみる。</p>
<p>12/19 月 1限</p>	<p>坪内 暁子</p>	<p>【授業タイトル】医師と社会②  【サブ・タイトル】児童虐待と医師の対応  【到達目標】患者の治療以外の社会での責務について理解する。</p>	<p>講義 グループワーク</p>	<p>自分以外の意見も参考に、犯罪の解決や抑止につながる医師の役割について考えてみる。 個人レポート提出</p>

1/13 金 1限	坪内 暁子	【授業タイトル】 予備日 【サブ・タイトル】 【キーワード】 【到達目標】	【授業タイトル】 予備日	










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	医療社会学	授業形態	
英語科目名	Medical Sociology	対象学年	1年
開講学期	2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	佐伯 みか	ナンバリング	
担当教員	佐伯 みか		
授業概要			
全体内容	<p>「医療を取り巻く社会課題(※)」と「医師としての自己(自身の原点/ライフストーリー)」を識り、言語化する  ※：尊厳死における矛盾、延命治療から症状緩和への移行期に浮上する諸問題、AI/IoT・ロボットの活用で直面する社会課題、医師-患者関係の裏側、医師-看護師関係と治療アウトカム、医療事故・医療訴訟の背景など</p>		
到達目標	<p>[一般目標]  「医療を取り巻く7つの根源的な社会課題」を切り口に、「医師としての自己(自身の原点/ライフストーリー)」に関するこれまでの自覚を超える+言語化する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「医療ミス・事故・訴訟の発生過程・有効な防止策」を理解した上で、医師として取り組むべき事項を、“自分の言葉”で語ることができる(言語化)。</li> <li>2. 「尊厳死」をめぐる国内外の世論の変遷を理解した上で、「人間」、「医師」として、自身が生命にどう向き合うかを、“自分の言葉”で語ることができる(言語化)。</li> <li>3. 「医師・患者関係」を理解した上で、「患者満足」や「専門職としての使命」の観点から「医療行為の最終目的」について、“自分の言葉”で語ることができる(言語化)。</li> <li>4. 「医療現場でチームを組成することの難しさ」とそのことが「アウトカム」に与える影響を学んだ上で、「医師としてのリーダーシップ」の在り方について、“自分の言葉”で語ることができる(言語化)。</li> <li>5. 「患者が退院後に直面する諸問題」を学んだうえで、「地域医療・包括医療、医療-介護連携におけるリーダーシップの在り方について、“自分の言葉”で語ることができる(言語化)。</li> <li>6. 「医療におけるAI・ロボット・IoT導入後の実態・効果・影響」を学んだうえで、医師が考慮すべき「倫理的・実存的・社会的課題」について、“自分の言葉”で語ることができる(言語化)。</li> <li>7. 「医療の質」とは何か、「医療の質に対する考え方の各国比較」を学んだ上で、「医療の質」を維持・向上させるために、医療界及び医師が何をすべきかを、“自分の言葉”で語ることができる(言語化)。</li> <li>8. 全授業を通して「医療を取り巻く7つの根源的な社会課題」を切り口に紡ぎ出した“自分の言葉”の活用法について、理解できる(言語化)。</li> </ol>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 医療を取り巻く社会課題と自分自身のあり方について強い関心のある方、更に思考を深めたい方、そのための努力をする意思のある方のみ、履修ください。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席・参画状況、ミニレポートの内容 (65%)</li> <li>■ プレゼン・最終レポート内容 (35%)</li> </ul>
------	---

評価基準	<p>成績評価基準：</p> <p>以下2つの観点から評価する</p> <p>(1) 各テーマに対する総合的な理解度 (ミニレポート・プレゼン・最終レポート)</p> <p>(2) "自分の言葉" か (ミニレポート・プレゼン・最終レポート)</p>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課題 (小テストやレポート等) に関しては、講義中に適宜フィードバックを行う。</li> </ul>
---

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

--

その他	
連絡先・オフィスアワー	
担当教員の実務経験	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プレゼン担当者は、準備をしてください : 5-6時間程度</li> <li>■ プレゼンしない場合も各回のテーマについてイメージをもって出席すると学習効果が倍増 : 30分程度</li> </ul>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
9/21 水 2限	佐伯 みか	<p>【授業タイトル】オリエンテーション1-常識的な 医療社会学、オリエンテーション2-課題志向の医療社会学</p> <p>【サブ・タイトル】◎なぜ、医師は、医療社会学を学ぶべきなのか？</p> <p>【キーワード】学際性、複眼性</p> <p>【到達目標】本講義のキーワード「学際性」、「複眼性」を理解し、次回以降の講義にて、医療の社会課題を構造的に理解するための基盤をつくる。</p>	講義・討議	サブ・タイトルの問いについて、考察する。
9/28 水 2限	佐伯 みか	<p>【授業タイトル】今の自分を識る/自分の原点を言語化する1-解放する、今の自分を識る/自分の原点を言語化する2-深める</p> <p>【サブ・タイトル】◎「医師」と「自分」との関係</p> <p>【キーワード】自分の原点、言語化、嘘、引き出し</p> <p>【到達目標】今の自分を識る/自分の原点を言語化する。</p>	講義・討議	サブ・タイトルの問いについて、言語化・発表する（前の授業で、課題について詳細に説明する）。



10/5 水 2限	佐伯 みか	【授業タイトル】 前回授業の続き	講義・討議	前回授業の続き
10/12 水 2限	佐伯 みか	<p>【授業タイトル】 医療ミス・事故・訴訟の原因</p> <p>【サブ・タイトル】 ◎なぜ、医療ミス・事故・訴訟は起こるのか？</p> <p>【キーワード】 過失、予見可能性、回避可能性、隠れた欠陥</p> <p>【到達目標】 医療ミス・事故・訴訟の発生過程・防止策を理解した上で、医師として取り組むべき事項を、“自分の言葉”で語るができる（言語化）。</p> <p>【授業タイトル】 医療ミス・事故・訴訟の対策</p> <p>【サブ・タイトル】 ◎我々は、何をすべきか？</p> <p>【キーワード】 国（厚労省）、学会、医療機関、エラーブルーフ、RCA、FMEA</p> <p>【到達目標】 医療ミス・事故・訴訟の発生過程・防止策を理解した上で、医師として取り組むべき事項を、“自分の言葉”で語るができる（言語化）。</p>	講義・討議	サブ・タイトルの問いについて、言語化・発表する（前の授業で、課題について詳細に説明する）。
10/19 水 2限	佐伯 みか	<p>【授業タイトル】 医療技術の進歩がもたらした倫理・社会問題1—尊厳死にどう向き合うべきか？、医療技術の進歩がもたらした倫理・社会問題2—国際比較</p> <p>【サブ・タイトル】 ◎尊厳死にどう向き合うべきか？◎生命は誰のものか？◎医療の役割は？医師の役割は？</p> <p>【キーワード】 尊厳死、制度、国際比較</p> <p>【到達目標】 「尊厳死」をめぐる国内外の世論の変遷を理解した上で、「人間」、「医師」として、自身が生命にどう向き合うかを、“自分の言葉”で語るができる（言語化）。</p>	講義・討議	サブ・タイトルの問いについて、言語化・発表する（前の授業で、課題について詳細に説明する）。
10/26 水 2限	佐伯 みか	<p>【授業タイトル】 医師-患者関係1—医師の観点、患者の観点、医師-患者関係2—医師のジレンマ、医師の使命</p> <p>【サブ・タイトル】 ◎医療行為は、何のために存在するのか？優先順位はどうあるべきなのか？◎医師は「患者満足」をどこまで追求すべきか？</p> <p>【キーワード】 医師-患者関係、隠された認識ギャップ、患者満足と医師の納得/プロフェッショナル</p> <p>【到達目標】 「医師・患者関係」を理解した上で、「患者満足」や「専門職としての使命」の観点から「医療行為の最終目的」について、“自分の言葉”で語るができる（言語化）。</p>	講義・討議	サブ・タイトルの問いについて、言語化・発表する（前の授業で、課題について詳細に説明する）。

11/2 水 2限	佐伯 みか	<p>【授業タイトル】 医師-看護師関係1-チーム医療を掘り下げる、医師-看護師関係2-自組織内リーダーシップとアウトカム</p> <p>【サブ・タイトル】 ◎医師と看護師の関係が医療行為の最終結果に及ぼす影響は？◎医師は看護師からどうみられているか？医師と看護師の関係の理想は？</p> <p>【キーワード】 役割期待、役割認知、役割葛藤、協働</p> <p>【到達目標】 「チーム医療」が成立しない背景と影響を学んだ上で、「自組織内リーダーシップ」の在り方について、“自分の言葉”で語る事ができる（言語化）。</p>	講義・討議	サブ・タイトルの問いについて、言語化・発表する（前の授業で、課題について詳細に説明する）。
11/9 水 2限	佐伯 みか	<p>【授業タイトル】 地域医療と医師1-退院後の患者と家族の生活、地域医療と医師2-他組織との連携・リーダーシップ</p> <p>【サブ・タイトル】 ◎退院後の患者は、退院後、どのような課題を抱えるか？◎患者の人生を考えたとき、医師が連携を図るべき組織外の専門職は？</p> <p>【キーワード】 地域医療、包括医療、介護、自立支援</p> <p>【到達目標】 「患者が退院後に直面する諸問題」を学んだうえで、「地域医療・包括医療、医療-介護連携における組織間リーダーシップ」の在り方について、“自分の言葉”で語る事ができる（言語化）。</p>	講義・討議	サブ・タイトルの問いについて、言語化・発表する（前の授業で、課題について詳細に説明する）。
11/30 水 2限	佐伯 みか	<p>【授業タイトル】 AI・ロボット・IoTと医師1、AI・ロボット・IoTと医師2-リーダーシップの本当の意味</p> <p>【サブ・タイトル】 ◎医療におけるAI・ロボット・IoTの活用は、医療にどのような影響を与えるか？◎AI・ロボット・IoTが医療に及ぼす影響をふまえて、その倫理・実存・社会的課題にどう取り組むべきか？</p> <p>【キーワード】 AI、ロボット、VR、自動化、人間らしさ</p> <p>【到達目標】 医療における「AI・ロボット・IoT導入」後の実態・効果・影響」を学んだ上で、医師が考慮すべき「倫理的・実存的・社会的課題」について“自分の言葉”で語る事ができる（言語化）。</p>	講義・討議	サブ・タイトルの問いについて、言語化・発表する（前の授業で、課題について詳細に説明する）。
12/3 土 2限	佐伯 みか	<p>【授業タイトル】 医療の質向上・保証1-産業界から学ぶべきこと、医療の質向上・保証2-手法・ツール・観点</p> <p>【サブ・タイトル】 ◎なぜ、トヨタの車は壊れないのか？◎なぜ、トヨタへの信頼は厚いのか？◎医療が学べることは何か？</p> <p>【キーワード】 QC、TQM、見える化など</p> <p>【到達目標】 「医療の質」とは何か、「医療の質」を維持・向上させるために医療界及び医師が何をすべきかを、“自分の言葉”で語る事ができる（言語化）。</p>	講義・討議	「医療の質」とは何か、「医療の質」を維持・向上させるために医療界及び医師が何をすべきかを、“自分の言葉”で語る事ができる（言語化）。

<p>12/7 水 2限</p>	<p>佐伯 みか</p>	<p>【授業タイトル】医療の質向上・保証3ー「質」とは？、医療の質向上・保証4ー「質」が重要な理由とは？  【サブ・タイトル】◎そもそも、「医療の質」とは何か？◎なぜ「医療の質」が重要なのか？◎医療の質は、どのように保証・向上できるのか？そのために医師がすべきことは何か？  【キーワード】医療の質、評価指標、質向上の促進要因・阻害要因  【到達目標】「医療の質」とは何か、「医療の質」を維持・向上させるために医療界及び医師として何をすべきかを、“自分の言葉”で語る（言語化）。</p>	<p>講義・討議</p>	<p>サブ・タイトルの問いについて、言語化・発表する（前の授業で、課題について詳細に説明する）。</p>
<p>12/14 水 2限</p>	<p>佐伯 みか</p>	<p>【授業タイトル】自分の原点と医療・医師1ーオリジナリティの感知、自分の原点と医療・医師2ー“自分の言葉”の活用法  【サブ・タイトル】◎自分の原点はどこにあるのか  【キーワード】自分の原点、変化、引き出し  【到達目標】全学習・体感を踏まえ「一人の人間」として何をしたいか(自分の原点)”について、“自分の言葉”で語る（言語化）。全授業を通して紡ぎ出した”自分の言葉”の活用法について理解できる（言語化）。</p>	<p>講義・討議</p>	<p>サブ・タイトルの問いについて、言語化・発表する（前の授業で、課題について詳細に説明する）。</p>











--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	文化の中の健康	授業形態	講義
英語科目名	Health & Culture	対象学年	1年
開講学期	2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	湯浅 資之	ナンバリング	
担当教員	湯浅 資之、佐藤 准子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>文明とは普遍的、合理的なもので、世界どこでも共通の価値を有すると考えられる。医学部で学ぶ医学や医療の講義の多くが、文明の中の健康に焦点を当てたものである。他方、文化とは特殊的、不合理的なものであり、地域や集団によりその価値は大きく異なるものである。人間は文明の中で生活もしているが、文化の中でも生活する存在である。それぞれ異なる文化の中に生きる患者に接するとき、異文化理解は重要であり、文化の中で健康を考える視座を身につけることが必要となる。本授業では、様々な文化の視点から健康や疾病を考えることを通して、文化の中で健康を捉えることができるようになることを目的とする。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]          医学・医療はひとびとの疾患や病いを癒すことが目的であり、「自然科学」と位置づけられている。しかし、現実には世界各地の文化によって何が病気なのか、何が健康なのか、ひとびとの健康観、病気観が異なっている。本講義では病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を考えられるようになることを目的とする。</p> <p>[到達目標]          1. 病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。          2. 自身が所属する文化を相対化することができる。          3. 人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。          4. 文化と医療の関係を考えることができる。</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	従来からの考え方にとらわれず、新鮮な気持ちをもって自分の頭で考えることを望みたい。
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法： 出席率と最終講義に提示される課題に対するレポートの提出で評価する。
------	--

評価基準	成績評価方法： 出席率と最終講義に提示される課題に対するレポートの提出で評価する。
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

「医療人類学：世界の健康問題を解き明かす」 アン・マケロイ、パトリシア・K. タウンゼント、大修館書店、1995  
「医療人類学入門（朝日選書）」 波平恵美子、朝日新聞社、1994  
「国際保健・看護」 丸井英二・森口育子・李節子、弘文堂、2012

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
<p>【連絡先】            医学部 衛生学・公衆衛生学講座（公衆衛生学）            担当：佐藤准子（st-sato@juntendo.ac.jp）・湯浅資之（moyuasa@juntendo.ac.jp）</p> <p>【オフィスアワー】            日時：月～金、10時～18時            場所：A棟7階            他の学生の相談時間とかち合わないようするため、事前にE-mailで予約してください。</p>				
<p>1. 文明と文化の違いを調べておく。            2. 文化の中の健康の事例を調べ、説明できるようにしておく。            3. 文化の視点から見た健康観、疾病概念にどのようなものがあるか、事前に調べておく。            【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、復習：45分</p>				
9/21 水 2限	衛生学・公衆衛生学講座 （公衆衛生学） 佐藤 准子	<p>【授業タイトル】日本における外国人医療①、日本における外国人医療②            【キーワード】健康とは、日本における外国人保健医療、訪日外国人、在留外国人            【到達目標】日本における外国人医療について説明できる。</p>	講義	日本における外国人医療について考え、自分なりの意見を整理しておく。
9/28 水 2限	病理・腫瘍学講座 樋野 興夫	<p>【授業タイトル】がん哲学①、がん哲学②            【サブ・タイトル】人は、がんとともにどのように生きていくのか            【キーワード】がん、病い、文化、精神            【到達目標】がんと文化の関連について説明できる。</p>	講義	文化の視点からがんについて考え、自分なりの意見を整理しておく。

<p>10/5 水 2限</p>	<p>国際教養学部 辰巳 洋</p>	<p>【授業タイトル】人生は即ち食一食薬同源・食医同源①、人生は即ち食一食薬同源・食医同源② 【サブ・タイトル】中医薬膳学 【キーワード】中医学・薬膳学、古くから伝承される食生活概念 【到達目標】食と文化・中医学（東洋医学）の関連について説明できる。</p>	<p>講義</p>	<p>中医学（東洋医学）と文化の視点から食について考え、自分なりの意見を整理しておく。</p>
<p>10/12 水 2限</p>	<p>池沢神経科病院 精神科 儀藤 政夫</p>	<p>【授業タイトル】日本文化の中の精神医療①、日本文化の中の精神医療② 【サブ・タイトル】日本と欧米の精神医療の歴史を比較して 【キーワード】精神医療の歴史、精神疾患と科学、レジリエンス、これからの精神保健福祉 【到達目標】精神保健と文化の関連について説明できる。</p>	<p>講義</p>	<p>文化の視点からメンタルヘルスについて考え、自分なりの意見を整理しておく。</p>
<p>10/19 水 2限</p>	<p>衛生学・公衆衛生学講座（公衆衛生学） 神作 麗</p>	<p>【授業タイトル】世界の多様な文化における健康（1）①、世界の多様な文化における健康（1）② 【キーワード】文化と病気、伝統医療と民間療法、健康の定義 【到達目標】多様な文化と健康の関連について説明できる。</p>	<p>講義</p>	<p>文化に特有な健康観や疾病概念があるか事前に調べておく。</p>
<p>10/26 水 2限</p>	<p>グローバルヘルスリサーチ 横堀 雄太</p>	<p>【授業タイトル】世界の多様な文化における健康（2）、①世界の多様な文化における健康（2）② 【サブタイトル】—JICAザンビア母子保健プロジェクトより—①、—JICAザンビア母子保健プロジェクトより—② 【キーワード】母子保健、アフリカ、死因、JICA 【到達目標】多様な文化と健康の関連について説明できる。</p>	<p>講義</p>	<p>文化に特有な健康観や疾病概念があるか事前に調べておく。</p>



<p>11/2 水 2限</p>	<p>衛生学・公衆衛生学講座 (公衆衛生学) 友岡 清秀</p>	<p>【授業タイトル】現代における鍼灸治療①、現代における鍼灸治療② 【キーワード】鍼灸、伝統医療 【到達目標】現代社会における鍼灸治療の意義について説明できる。</p>	<p>講義</p>	<p>文化の視点から現代社会における鍼灸治療の意義について考え、医師としてどのような関わりができるか、自分なりの意見を整理しておく。</p>
<p>11/9 水 2限</p>	<p>衛生学・公衆衛生学講座 (公衆衛生学) 岡本 裕樹</p>	<p>【授業タイトル】ソーシャル・キャピタルと健康①、ソーシャル・キャピタルと健康② 【キーワード】信頼、規範、ネットワーク、地域高齢社会、社会格差、健康の不平等 【到達目標】社会的つながりと健康の関連を説明できる。</p>	<p>講義</p>	<p>日常生活の視点から社会のつながりと健康について考え、自分なりの意見を整理しておく。</p>
<p>11/30 水 2限</p>	<p>衛生学・公衆衛生学講座 (公衆衛生学) 和田 裕雄</p>	<p>【授業タイトル】健康と睡眠①、健康と睡眠② 【キーワード】交代勤務、睡眠時無呼吸症候群、睡眠と生活習慣病 【到達目標】睡眠と健康の関連について説明できる。</p>	<p>講義</p>	<p>睡眠の視点から健康について考え、自分なりの意見を整理しておく。</p>
<p>12/3 土 2限</p>	<p>国際教養学部 白山 芳久</p>	<p>【授業タイトル】伝統的治療と近代公衆衛生学による治療と予防①、伝統的治療と近代公衆衛生学による治療と予防② 【キーワード】伝統的治療、住民参加型活動 【到達目標】異なる文化背景を持つ人々の健康への介入について説明できる。</p>	<p>講義</p>	<p>自然宗教のもとでは人々は病いをどのように捉え対応してきたか、自分なりの意見を整理しておく。</p>

<p>12/7 水 2限</p>	<p>衛生学・公衆衛生学講座 (公衆衛生学) 野田 愛</p>	<p>【授業タイトル】社会格差と健康格差①、社会格差と健康格差② 【キーワード】社会格差、健康格差、生活 【到達目標】格差と健康の関連について説明できる。</p>	<p>講義</p>	<p>格差の視点から健康について考え、自分なりの意見を整理しておく。</p>
<p>12/14 水 2限</p>	<p>衛生学・公衆衛生学講座 (公衆衛生学) 遠藤 源樹</p>	<p>【授業タイトル】就労と健康①、就労と健康② 【キーワード】働き方改革、就労、両立支援 【到達目標】就労と健康について説明できる</p>	<p>講義</p>	<p>就労の視点から健康について考え、自分なりの意見を整理しておく。</p>
<p>12/21 水 2限</p>	<p>衛生学・公衆衛生学講座 (公衆衛生学) 川田 裕美</p>	<p>【授業タイトル】健康とIT①、健康とIT② 【キーワード】IT、治療アプリ、オンライン診療 【到達目標】健康におけるIT活用について説明できる。</p>	<p>講義</p>	<p>健康とITについて自分なりの意見を整理しておく。</p>

<p>1/11 水 2限</p>	<p>衛生学・公衆衛生学講座 (公衆衛生学) 佐藤 准子</p>	<p>【授業タイトル】文化の中における健康観-GNPの視点から、文化の中の健康：まとめ 【サブ・タイトル】課題提示 【キーワード】文化、健康観、GNP 【到達目標】文化の中で健康を見る視点の重要性を説明できる。</p>	<p>講義</p>	<p>これまでの講義で理解したことを整理しておく。</p>










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）